

差出人： [日本学術会議事務局](http://www.scj.go.jp/ja/office/)  
宛先： [info@rpsj.org](mailto:info@rpsj.org)  
件名： 【SCJ】日本学術会議ニュース・メールNo.775  
日付： 2021年11月19日 15:00:30

---

=====  
\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.775\* 2021/11/19  
=====

1. 【開催案内】

日本学術会議主催学術フォーラム

「我が国の学術政策と研究力に関する学術フォーラム

—我が国の研究力の現状とその要因を探る—

2. 令和4年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）

3. 【開催案内】公開シンポジウム

「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ

—大学・企業・学協会におけるダイバーシティ推進に向けた取り組み—

■-----  
【開催案内】

日本学術会議主催学術フォーラム

「我が国の学術政策と研究力に関する学術フォーラム

—我が国の研究力の現状とその要因を探る—

■-----  
【日時】 2021年12月11日(土) 10:00～17:30

【場所】 オンライン開催

【主催】 日本学術会議

【企画】 課題別委員会「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会」

【開催趣旨】

今世紀に入ってから、日本の学術の国際競争力の後退が顕著に表れている。特に理工学系や生命科学分野に代表される自然科学分野においては、基礎科学だけでなくその応用技術分野においても顕著である。当該分野の出版総論文数やトップ1%論文数も低迷しており、ほとんどの統計的指標が我が国の学術・研究力の後退を示している。一方、我が国では1990年代初頭から、国立大学の大学院重点化や法人化など、教育研究機関の「改革」が次々に実施されるとともに、CSTI創設をはじめとする科学技術の振興に関する政策も大きく変化した。これまで科学技術立国を目指すための様々な政策が実施されてきたにもかかわらず、この凋落傾向は改善されないばかりか、むしろ近年は加速傾向にある。この深刻な学術・研究力の後退の問題について、これまで専門家や批評家、各省庁や関係機関から様々な解析や要因の指摘がなされてきた。日本学術会議においては期を超えて長期的に取り組むべき重要課題と考え、その要因を科学的に解明して将来の発展に繋がる途を探ることを目的として「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会」を発足させたところである。この委員会のキックオフ活動として、これまで発出された様々な意見を総括するとともに、多様な視点から将来の学術の発展に向けた論議を進めるための学術フォーラムの開催を企画した。これにより日本学術会議の新たな活動を周知するとともに、この重要な問題に関する幅広い議論の活性化を目指している。また、日本学術会議の会員・連携会員を対象とする意見聴取のためのアンケート調査を並行して実施する予定であり、これに資する最新情報の共有を図ることも目的としている。

【次第】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2021/315-s-1211.html>

【参加費】 無料

【申込み】

要・事前申し込み：以下のURLからお申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0110.html>

【問合せ先】

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295

■-----  
令和4年度代表派遣会議の推薦募集について（ご案内）

令和4年度代表派遣会議の推薦募集を開始致します。

日本学術会議では、世界の学界との連携、国際学術団体の運営への参画、学術に関する動向の把握、研究の連絡並びに情報の収集及び交換等を行うため、外国で開催される学術に関する国際会議等に学術会議の代表を派遣しています。

日本学術会議の代表として参加すべき必要性の高い国際会議がございましたら、ご所属の委員会委員長又は国際学術団体に対応する分科会委員長または世話人（以下「関係委員長」）へご相談下さい。関係委員長の推薦が必要となります。

代表派遣の対象となる国際会議は、当会議が加入している国際学術団体が主催又は共催する総会、理事会等を原則とされるようご留意願います。

オンラインでの出席も代表派遣の一種として取り扱っております。オンライン開催の可能性がある会議についても、日本学術会議の代表派遣とすべき会議がございましたらご提出ください。

なお、日本学術会議では、ディスカウント・エコノミー相当のフライト代を負担させていただきます。応募多数の際には、ご希望に添えない場合もございますので、予めご承知おき下さい。

オンラインでの開催が決まっている会議は航空券のお見積書は不要です。現地出席・オンライン出席等、開催形式が決まっていない場合は必ずお見積書をご提出ください。

#### 【募集対象会議】

開催初日が令和4年4月1日～翌年3月31日までの会議

#### 【募集締切】

令和4年1月6日（木）正午×切 [期限厳守・必着]

(※関係委員長(世話人)からの提出の×切日となります。)

#### 【手続き】

申請手続きは、関係委員長からの推薦が必要となりますので、関係委員長までご相談下さい。

#### 【代表派遣会議HP】

<http://www.scj.go.jp/ja/int/haken/index.html>

#### 【日本学術会議が加入している国際学術団体】

[http://www.scj.go.jp/ja/int/link\\_kanyu.html](http://www.scj.go.jp/ja/int/link_kanyu.html)

ご質問等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

#### <問い合わせ先>

日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）室 代表派遣担当

TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755

E-mail: kokusaidaihyohaken.group@cao.go.jp

#### 【開催案内】 公開シンポジウム

「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ  
ー大学・企業・学協会におけるダイバーシティ推進に向けた取り組みー」

【日時】 2021年12月19日（日）14:00～18:00

【場所】 オンライン開催（Zoom）

【主催】 日本学術会議 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

日本学術会議 科学者委員会男女共同参画分科会

【後援（予定）】

文部科学省、厚生労働省、内閣府男女共同参画局、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益社団法人日本薬学会、一般社団法人日本看護系学会協議会、一般社団法人日本医学会連合、一般社団法人日本歯科医学会連合、一般社団法人日本農学会、生活科学系コンソーシアム、

生物科学学会連合、日本生命科学アカデミー、日本農学アカデミー、  
男女共同参画学協会連絡会、全国ダイバーシティネットワーク

【参加費】 無料

【定員】 約1000名（事前申込先着順）

【事前申し込み】

要（申込期限：12月17日（金））

<https://forms.gle/DynjTzVLJBGqzUjb9>

お申込みいただきました方には、12月17日に参加のURLをご案内いたします。  
届かない場合は、再度、お申込み下さい。

【開催趣旨・プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2021/317-s-1219.html>

【問い合わせ先】

メールアドレス：SCJ25.Symposium@gmail.com

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

---

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたします。

新URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

---

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34